

中3の地理の授業をご紹介します

本校の中学3年生の社会では地理と公民を学習します。今回は地理の授業でどのような学習をしているのかをご紹介します。

中学3年生の地理では「高校地理Bの系統地理」を扱います。生徒たちは中学1年生で世界地理、中学2年生で日本地理を学習してきました。中学3年生では、地域ごとに学習を進める地誌学習ではなく、ここまで学習してきた内容に横ぐしを通していきます。1学期は「地形」「気候」、2学期は「農業」「工業」、3学期は「人口」「村落・都市」を中心に扱います。特定の地域に絞った学習ではなく、「山脈はどのように形成されるのか」「砂漠はどのような地域にどのように形成されるのか」といったメカニズムを学習します。

加えて並行して学習している公民とも内容を連動させています。地理で「気候」を学習したあとに公民で「環境問題」を学習するなど、科目を超えた学習を行っています。

この地理の授業において力を入れているのが、画像や映像を活用して視覚的にイメージをとらえることです。本校の通常教室にはプロジェクターとスクリーンが設置されています。これを活用することで、授業内で映像を視聴したり、Google Map や Google Street View で地域の様子を確認したりすることができます。女子生徒の中には地理を苦手とする生徒も多いですが、視覚的なイメージを切り口とすることで地理へのハードルを低くし、スムーズな理解に繋がるように工夫がなされています。

